
リリース 6.0, 6.1, 8.1 の新機能

リリース 8.1 の新機能と変更点

以下の表は、Unify VISION リリース 8.1 で追加された機能と、その機能に関して「*Unify VISION: リリース 8.1 での機能拡張*」マニュアル中の記載個所を示したものです。Unify VISION リリース 5、6.0 あるいは 6.1 をご使用の場合は、これらの機能はご利用できませんので、マニュアル中のこれらの記述は読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	キーワード
Unify DataServer の数値データタイプである HUGE INTEGER と CURRENCY のサポート	<i>Unify VISION: アプリケーション リファレンス</i> <i>Unify VISION: アプリケーション開発</i>	CURRENCY, HUGE INTEGER, UAMOUNT64, UNUMERIC64
Unicode のサポート 欧州連合（EU）ではアプリケーションは連合加盟国の文字セットをすべてサポートする必要があり、Unicode でのみ実現することができます。Unicode により世界中すべての言語をサポートできるデータベースの構築が可能となります。	<i>Unify VISION: アプリケーション リファレンス</i>	LANG
Unify DataServer 8.1 との互換性	なし	
Oracle 9i との互換性	なし	

以下の機能は、今回の Unify VISION のリリースから取り除かれています。

- Unify AppMan
- VISION/Web

リリース 6.1 の新規及び変更された機能

リリース 6.1 の新しい機能は、ユーザからの意見から反映されました。リクエストされた新しい機能や拡張された機能が実装されています。

以下の表は、Unify VISION リリース 6.1 に追加された機能と、その機能に関して「Unify VISION 機能拡張ガイド Release 6.1」マニュアル中の記載個所を示したものです。リリース 5 あるいは 6.0 をご使用の場合は、これらの機能はご利用できませんので、マニュアル中のこれらの記述は読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	キーワード
Tarantella Systems と Citrix によって提供される軽量クライアント技術を使うことで、既存のアプリケーションを使用して Web 環境にできます。	この新しいプラットフォームの動作保証は、ドキュメント化されていません。コンサルティングに連絡してください。	
実行時に、SQL WHERE 句を生成する <code>gen_where\$()</code> システム関数は、Internet Integrator アプリケーションの開発時間を削減します。	<i>Unify VISION:</i> 4GL リファレンス	gen_where
VISION スクリプトエディタに、ステートメントのカラーコーディングと VISION の BEGIN/END ステートメントのマッチングを含む使いやすい機能の追加です。	<i>Unify VISION:</i> アプリケーション 開発	Match Characters Syntax coloring
ユーザのデータベースへの不正キャラクタを入力を防ぐことによって、生産性と情報の正確度が向上します。	<i>Unify VISION:</i> アプリケーション リファレンス	USTRBCHARS USTRBCHARS
機能拡張した インターネット・インテグレータ・メソッド <code>writeSubstitutedFile()</code>	<i>Unify VISION:</i> <i>Internet Integrator</i> によるアプリケーションの開発	writeSubstitutedFile

リリース 6 新機能

以下の表は、Unify VISION リリース 6.0 に追加された機能と、その機能に関してマニュアル中の記載個所を示したものです。リリース 5 をご使用の場合は、これらの機能はご利用できませんので、マニュアル中のこれらの記述は読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	章
<p>ActiveX Control エンハンスメント :</p> <p>使用可能な場合、ActiveX コントロールプロパティシートの [Native Properties] ボタンラベルを押した時、コントロールが表示されます。</p> <p>ActiveX コントロールプロパティシートの [Choose Control] ボタンラベルを押すと、ユーザが選択することの出来る使用可能な ActiveX コントロールの選択が表示されます。</p>	<p><i>Unify VISION:</i> 4GL リファレンス</p> <p><i>Unify VISION:</i> ActiveX クライアントアプリケーションの統合</p>	<p>5 章「スクリプトのセクションと文」</p> <p>3 章「ActiveX クライアントアプリケーションの開発」</p>
<p>デフォルトでは、オペレーティングシステム・ルーチンが、SHLIKE で使用する正規表現を評価するために使用されます。UNIFY_REGCMP 外部プリファレンスに TRUE を設定すると、Unify ルーティンが使われます。</p>	<p><i>Unify VISION:</i> アプリケーションリファレンス</p>	<p>7 章「外部プリファレンスの構文」</p>
<p>ローカル言語の正しい照合順序を保障するため、LANG オペレーティングシステム環境変数を設定し (.uvp ファイルの中に)、LC_NUMERIC オペレーティングシステム環境変数は設定しません。</p>	<p><i>Unify VISION:</i> アプリケーション開発</p>	<p>13 章「アプリケーションの配置」</p>
<p>ON EVENT メソッドに 1 つかそれ以上の引数が、それぞれ LIST か MATRIX 変数の場合、next_list_arg\$() と next_matrix_arg\$() の 2 つの関数は、TRUE を戻します。</p>	<p><i>Unify VISION:</i> ActiveX クライアントアプリケーションの統合</p>	<p>3 章「ActiveX クライアントの開発」</p>
<p>グローバルプリファレンスは、VISION 開発環境パネルで設定することで、.ucl と .vr ファイルを、自動的バックアップを実行する事が出来ます。</p>	<p><i>Unify VISION:</i> アプリケーション開発</p>	<p>16 章「VISION 開発環境プリファレンス」</p>

リリース 6.0 変更機能

以下の表は、Unify VISION リリース 6.0 で変更された機能と、その機能に関してマニュアル中の記載個所を示したものです。リリース 5 をご使用の場合は、これらの機能はご利用できませんので、マニュアル中のこれらの記述は読み飛ばしてください。

機能	マニュアル名	章
<p>ActiveX コントロールの変更：</p> <p>ON CALLBACK メソッドは、削除されました。</p> <p>ON EVENT メソッドは、ひとつの LIST 引数を持つ事象名の最初の要素名です。</p> <p>全てのメソッドは、オブジェクトがトリムかフィールドであるかに関わらず、スクリプトエディタで有効です。</p> <p>キーボードフォーカスは、ActiveX コントロール上にある時、next field, previous field と next tab, next tab キーのデフォルトの動作に影響しません。</p>	<p><i>Unify VISION: 4GL</i> リファレンス</p> <p><i>Unify VISION:</i> <i>ActiveX クライアント</i> <i>アプリケーションの</i> <i>統合</i></p>	<p>5 章 「スクリプトのセクションと文」</p> <p>2 章 「ActiveX コンポーネント配布パッケージの作成」</p>
<p>デフォルトでは、オペレーティングシステム・ルーチンが、SHLIKE を使用する正規表現を評価するために使用されます。UNIFY_REGCMP 外部プリファレンスに TRUE を設定すると、Unify ルーチンが使用されます。</p>	<p><i>Unify VISION: 4GL</i> リファレンス</p>	<p>4 章 「トークンと操作」</p>

機能	マニュアル名	章
ACCELL/SQL フォームは、フォルダからインポート出来ます。そしてフォルダの全てのフォームは、再帰的にインポートされます。Import テンプレートが示されれば、インポートで適用されます。	<i>Unify VISION:</i> <i>アプリケーション</i> <i>リファレンス</i>	4 章「フォーマット テンプレート」と 8 章「ユーティリ ティ」
	<i>Unify VISION:</i> <i>クラスリファレンス</i>	1 章「クラス」、2 章 「メソッド」と 4 章 「Runtime operations」
	<i>Unify VISION:</i> <i>アプリケーション</i> <i>開発</i>	16 章「VISION 開発 環境プリファレンス」
	<i>Unify VISION: マイグ</i> <i>レーションガイド</i>	3 章「ACCELL/SQL からのマイグレー ション」